

# 次期高齢者支援計画における 地域密着型サービス事業所の整備について

# 次期計画における整備（案）

- ▶ 第5次加須市高齢者支援計画期間（令和6年度～令和8年度）においては、次の2種類の地域密着型サービス事業所を新たに整備することとしたい。その理由は、次ページ以降のとおり。

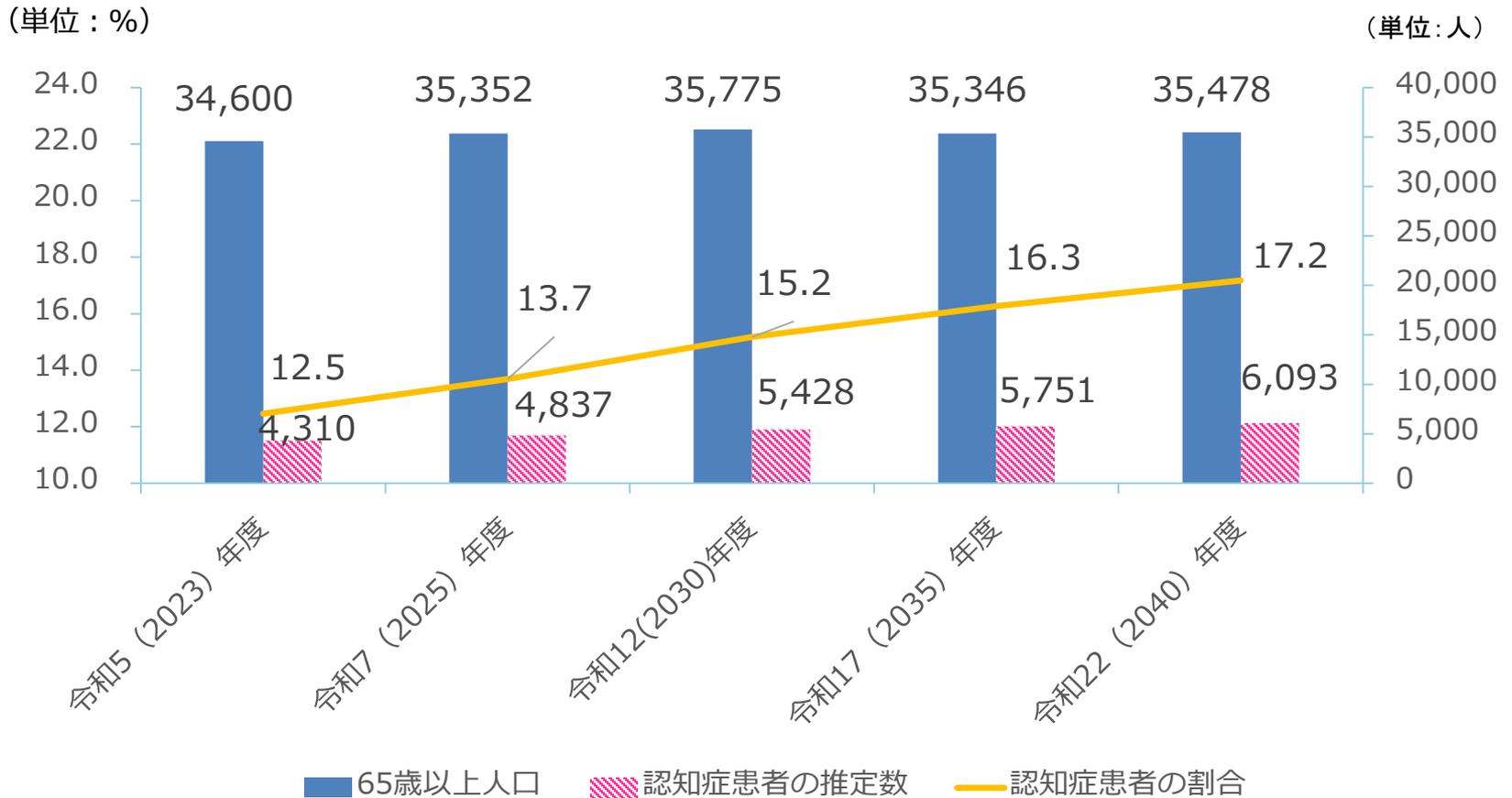
**1** 認知症高齢者グループホーム 18床

**2** 看護小規模多機能型居宅介護 登録定員29人

# 1 認知症高齢者グループホーム

## 認知症患者数の推移

▶ 2040年度における認知症患者の推定数は、現在の推定数の**1.4倍**に増える見込み。



(注) 令和5年度までの加須市における認知症患者数の推移から算出

## 認知症高齢者グループホームの整備状況及び今後の整備の必要性

- ▶ 市内で整備済のグループホームは8施設（総定員数117人）〔令和5年3月末現在〕
- ▶ 入居者数は112人（入居率95.7%）で、入居待機者数は9人〔令和5年3月末現在〕
- ▶ 現計画期間中における認知症高齢者グループホームの整備は行っていない。
- ▶ 認知症患者数の推計をみると、令和22（2040）年の認知症患者数は、現在の1.4倍に増加する見込み。
- ▶ 令和5（2023）年における認知症患者推計数に対するグループホームの整備率（総定員数の割合）は約2.7% **次期計画期間以降、現在の整備水準を維持していくためには、下表のとおり増床が必要となる見込み。**

	R5(2023)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)
必要総定員数	117	131	147	155	165
増床必要数 (前5年比)	-	+14	+16	+8	+10



**▶次期計画期間において、新たな認知症高齢者グループホームの整備の必要性が認められるのではないか。**

## **2 看護小規模多機能型居宅介護**

# 看護小規模多機能型居宅介護について

## 概要

- ▶ 利用者や家族の状況に応じて、小規模な住居型の施設への「通い」、自宅への「訪問（介護と看護）」、施設への「泊まり」のサービスを柔軟に提供するサービス
- ▶ 退院直後やがん末期の看取り期、病状不安定期など、医療ニーズも有する高齢者やその家族の地域での生活を総合的に支えるサービス

## 国の基本指針

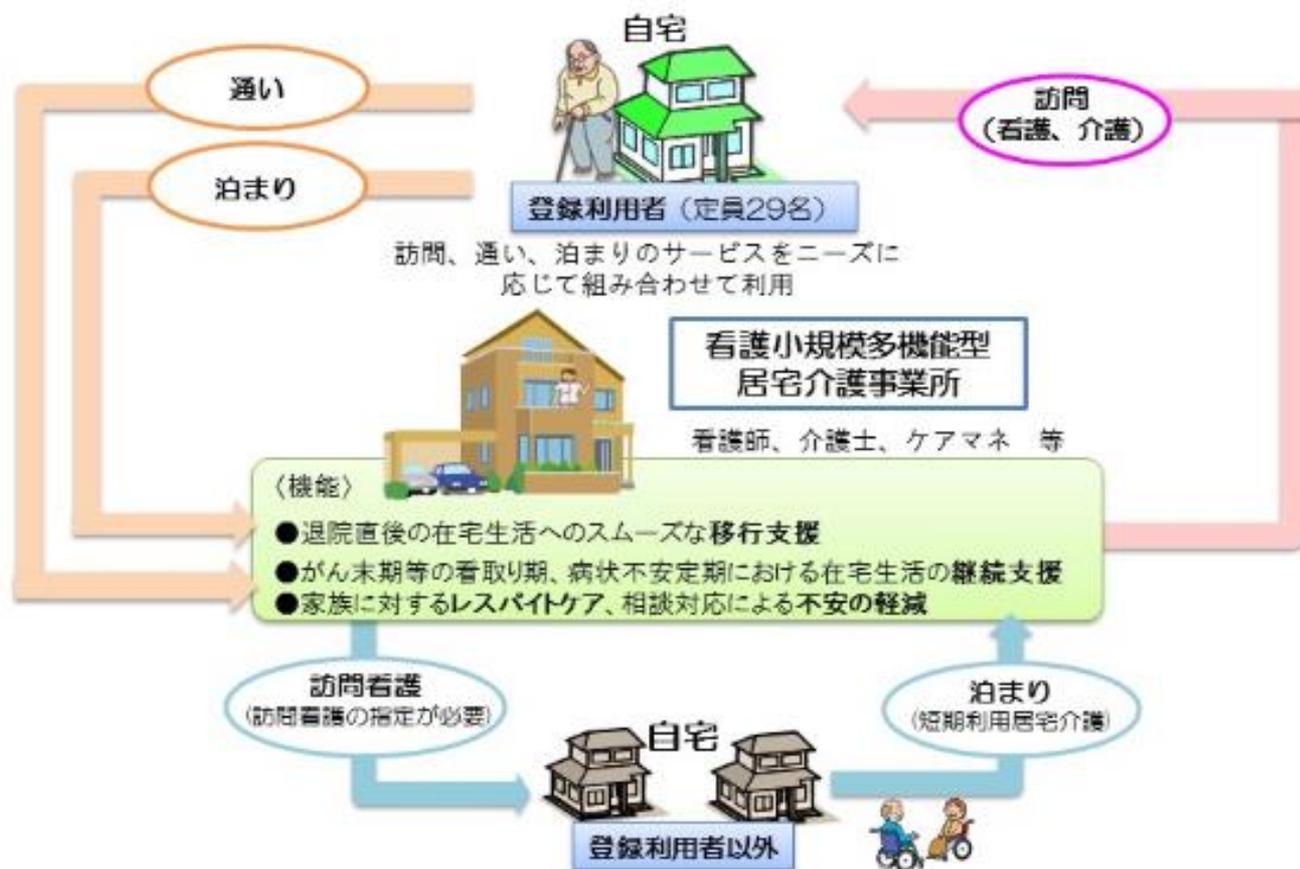
- ▶ 次期介護保険事業計画の策定に当たり国が示している基本指針（案）において、居宅要介護者の在宅生活を支えるため、「看護小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスを更に普及すること」が掲げられている。

## 整備を希望する事業者

- ▶ 市内の介護サービス提供事業者への調査（令和4年度実施）の結果、次期介護保険事業計画期間において、看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備を検討している事業者が1事業者あった。

## 看護小規模多機能型居宅介護の概要

- 退院後の在宅生活への移行や、看取り期の支援、家族に対するレスパイト等への対応等、利用者や家族の状態やニーズに応じ、主治医との密接な連携のもと、医療行為も含めた多様なサービス（「通い」、「泊まり」、「訪問（看護・介護）」）を24時間365日提供。
- また、登録利用者以外に対しても、訪問看護（訪問看護の指定が必要）や宿泊サービスを提供するなど、医療ニーズも有する高齢者の地域での生活を総合的に支える。

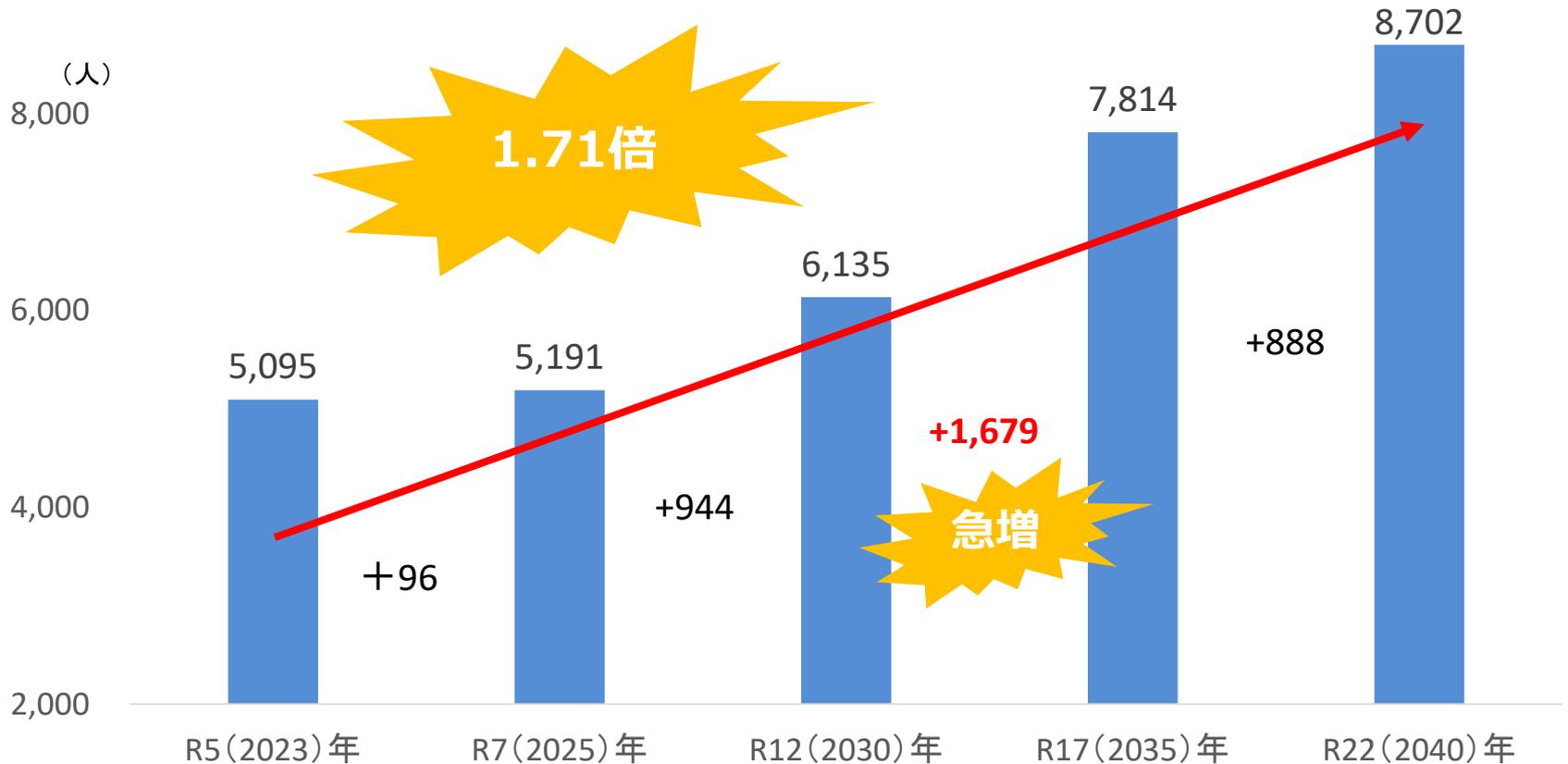


## 85歳以上の高齢者数の推移

令和22（2040）年の85歳以上人口は、現在の1.71倍に増加する見込み。  
特に、令和12（2030）年から令和17（2035）年にかけて急増が見込まれる。



医療と介護の両方のニーズに対応できる介護サービスが必要



【資料】地域包括ケア「見える化」システム（厚生労働省）

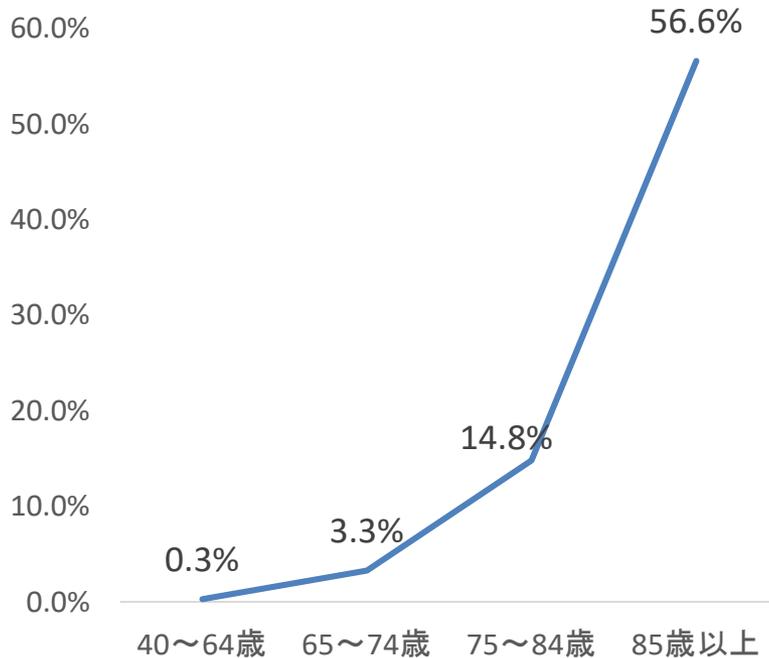
# 年齢階級別にみた「要介護認定率」及び「入院受療率」の状況

- ▶ 要介護認定率は、85歳以上になると急激に上昇し、2人に1人以上が該当する。
- ▶ 入院受療率（ある時点で人口10万人あたり何人が入院しているかを表す割合）は、75～84歳の2.7%に対し、85歳以上は5.7%と、2倍以上入院しやすい。



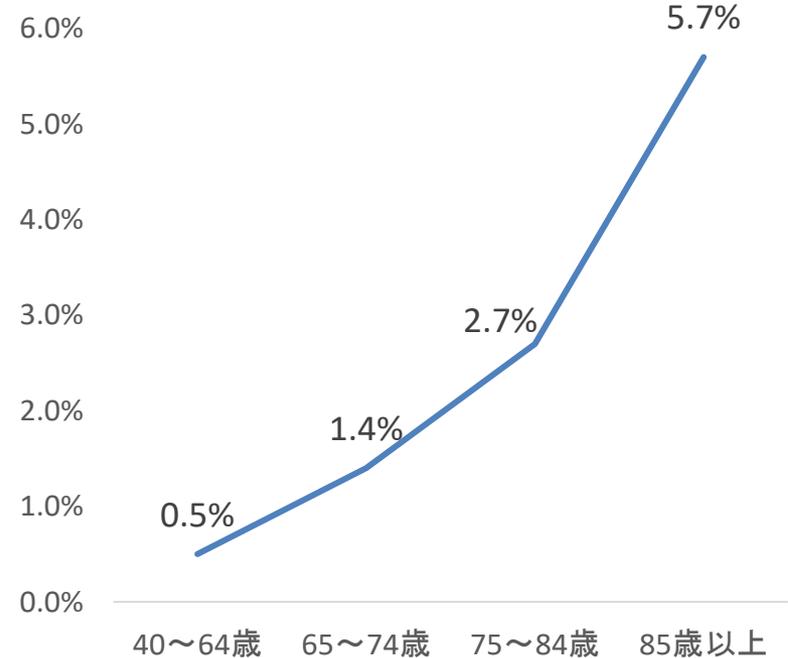
**医療と介護の両方を必要とする高齢者が増加**

年齢階級別にみた要介護認定率



【資料】介護保険事業状況報告(令和5年5月末)

年齢階級別にみた入院受療率



【資料】2020年患者調査（厚生労働省）

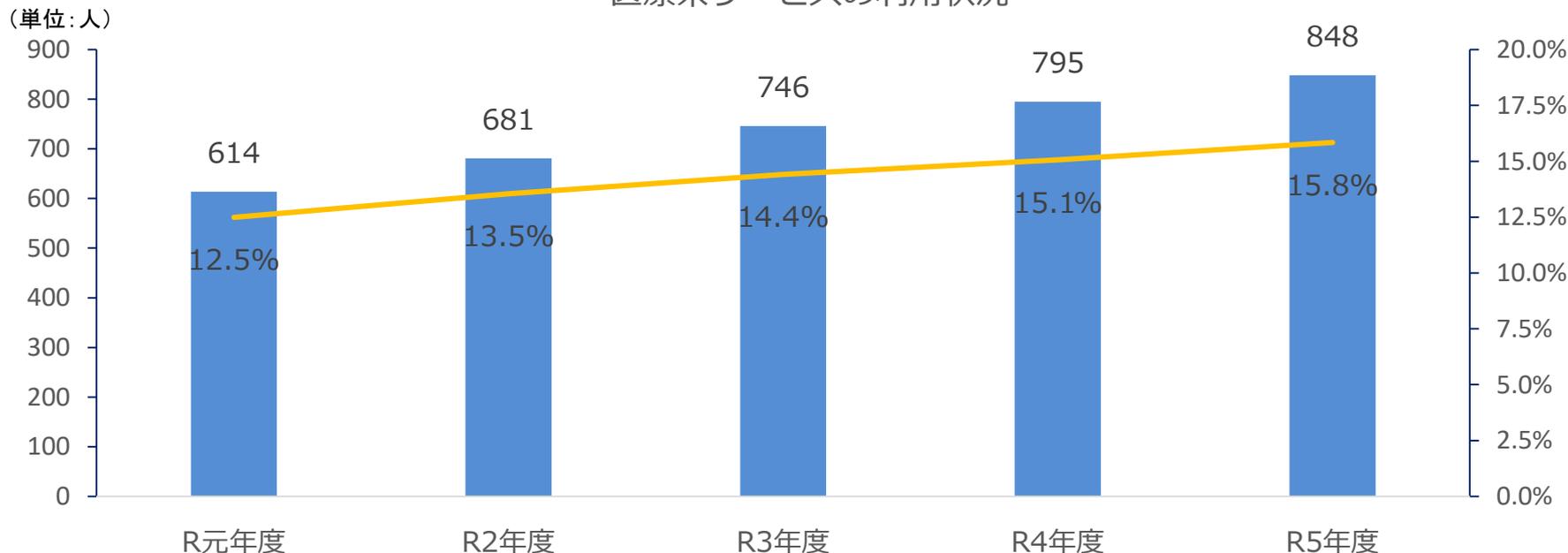
# 介護保険における医療系サービスの利用状況及び今後の整備の必要性

- ▶ 要介護等認定者数に対する医療系サービス（訪問看護及び居宅療養管理指導）の受給者数は、下表のとおり年々増加している。
- ▶ 訪問看護と訪問介護又は通所介護のサービスを併用している人の令和5年度の人数（231人）は、令和元年度の人数（193人）に比べて1.2倍に増加している。



## 医療と介護の両方を必要とする高齢者が増加

医療系サービスの利用状況



【資料】介護保険事業状況報告(各年度4月分)

■ 医療系サービスの受給者数

— 医療系サービスの受給割合



▶ 次期計画期間において、看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備の必要性が認められるのではないか。